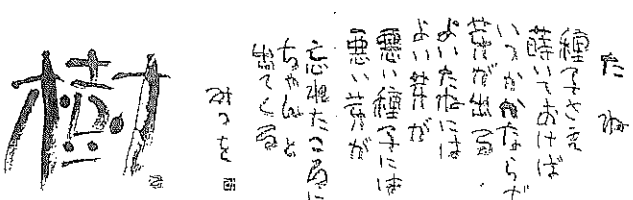
さくら第449号
平成29年5月

さくら

発行所　さくらそろばん
発行者　平瀬重雄
春江町境17-7：TEL51-1337
hirase@mx2.fctv.ne.jp



『…だからを、…だけどに変える』

4月6日（木）春江小学校の入学式に来賓として出席しました。9時23分に体育館へ新1年生3クラス90名が約10名に一人ずつ6年生に手を引かれ大きな拍手のなかを入場します。

千数百人が入れる広い体育館なので今まで体験したことのない一年生はどの子も緊張し、時おり周りの児童や保護者席を見ながら進み、自分の席へと案内されます。

新しく赴任された出蔵直美校長先生がお話しをされると、しっかり前を向いて聞く子、キョロキョロする子、下を向いて手遊びするなど色々です。1年生を除く児童504名、保護者約150人と来賓、先生がたが見守るなか静まり返った館内で式が進められます。

校長先生は挨拶のなかで5つの事について話されました。1つめは、自分でできることを一つずつ増やしていくように。2つ目はしっかり勉強すること、3つ目が友だちを大切にする、4つ目はよく食べてぐっすり寝ること、5つ目が交通安全でした。

これらの事柄は何も1年生に限ったことではなく、児童全員に当てはまります。学校生活の中だけでなく日々の生活の基になることです。大人になっても取り組み方は違っても内容は当てはまることばかりです。

春江小学校でもあいさつ運動が盛んに行われています。これも大事なことですが、長く休まず続けようとしても守られない事があります。ではどうすればよいのでしょうか。

大人でも同じですが、何かをする時に、できない理由、言い訳ばかり探す人がいます。

そこで大事なことは気持ちの持ち方、考え方を変えることです。

シートベルトをするのが面倒だから着けないと言わず、面倒だけど着けて身の安全を図る。

夜遅くまでテレビを見たから寝不足になるというのなら、見たいけれど録画するなりガマンすることも大事です。

自分は気が弱く人見知りだから友だちができないとあきらめず、恥ずかしいけれど自分から声をかけてみようと前向きにがんばろう。

もの覚えが悪いのだから勉強できなくても仕方ないと思わず、もの覚えがよくないのなら、あきらめず毎日少しずつガンバロウ、一日に漢字1つだけでもしっかり覚えると決心します。

1年生だからできなくても仕方ないと思わずに、1年生だけどできることは何かを見つけ、自分からやってみると楽しくなります。

こんな簡単なことだから人に笑われてしまうと思わず、簡単なことだけど自分の力でできそうなことからスタートすると、知らないうちに色々なことができるようになり、元気がでます。

「**三つ子の魂百まで・みつごのたましいひゃくまで**」とか、「**鉄は熱いうちに打て・てつはあついうちにうて**」というたとえがあります。

小さい時の気持ち、考え方、習慣は大人になり百歳になっても変わらないようです。鉄を加工するには熱くて溶けるような温度の時に打てば効果的です。素直で吸収力のある時に学ぶと身につくように、し始める時期が大事。

自分の力でできることを増やすとやる気が生まれレベルアップします。勉強することから新たな目標を見つけることができます。友だちは終生の宝です。何をするにも健康第一。心身が疲れていては日々の生活を楽しく過ごせません。交通事故によってかけがえのないこの世で一番大切な命を失くさないことです。

○○だからできないと思わず、◎◎だけどできるように努力し工夫することにより、明るく楽しく元気よく過ごすことができます。